

右之趣、海岸筋御代官江可被達候事、

○按ズルニ、海路ノ事ハ、地部諸國篇道路條、政治部運送篇運賃條、水運條等ニ在リ、宜シク參看スベシ、

江

江ハ、エト云フ、海水又ハ河水ノ深ク陸地ニ入リタル處ヲ謂フ、因テ又入江トモ云ヘリ、而シテ人工ヲ以テ開鑿シタルモノ、之ヲ堀江ト稱ス、

名稱

〔倭名類聚抄河海〕江

唐韻云、江海也、古雙反、和名衣

〔箋注倭名類聚抄水一〕山田本無和名二字、按、應神紀大鷦鷯尊御歌、伽破摩多曳、謂川派江、仁德紀有難波堀江、略中廣韻同、按、唐韻注江云、江海也者、猶言江海之江也、下條沼、池沼也、殿宮殿也、錫、鉛錫也、羅、綺羅也、之類、皆與此同、又按、說文、江水出蜀嶺、氏徼外嶧山入海、則知江本所出自嶧山之水、名、轉爲江海字、尙書正義、江以南、水無大小、俗人皆呼爲江、左傳正義、江海水之大者是也、風俗通、江者貢也、出珍物、可貢獻也、

〔和漢三才圖會水五十七〕江公音 和名衣

釋名江公也、小水流入其中、所公共也、く之大者、皆曰江、禹貢所謂三江者、松江、婁江、東江是也、今所稱三江者、荊州荊江、蘇州松江、杭州浙江是也、

〔東雅地輿〕江エ 義不詳我國にして江といふものは、河にもあれ、海にもあれ、其水深く入りたる所をいふ、入江、細江などいふ即是也、漢に江といふものには同じからず、天智紀に、高麗國寒極、漢所なり、漢の字讀てエといふなり、即漢江也、漢讀てエといふは、彼方言によれる、